



大谷場東

かしこく なかよく たくましく かがやく子の育成

- ◆発行：さいたま市立大谷場東小学校
- ◆住所：336-0016 さいたま市南区大谷場2丁目13番54号
- ◆電話：048-882-4618：FAX：048-811-1327
- ◆URL：https://oyabahigashi-e.saitama-cty.ed.jp

学校経営の最重点事項 現在の様子

校長 船田 敦史

今年度の重点取組（重点目標に関わる取組）の進捗状況についてお知らせします。

《学校経営の最重点事項》

- ①教科担任制の研究《市研究委嘱》
- ②さいたま市学習状況調査等の結果分析に基づく授業改善
- ③ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- ④あいさつの習慣化・「あいさつ運動」の推進
- ⑤生徒指導・心のサポート体制の充実
- ⑥異学年や中学校、地域の方との積極的な交流

- ① 本校では今年度も引き続き、第4学年から一部教科担任制を導入し、指導に当たっています。第5・6学年の授業では、大谷場中学校教員（理科、G・S）の協力も得て、専科教員だけでなく各担任も1つの教科を受け持つ「完全教科担任制」を進めています。11月28日にはこれまでの研究の成果を発表する研究発表会が予定されています。大谷場中学校の先生方と協力して、研究の成果をまとめているところです。
- ② 7月に市教委指導主事を招聘し、全国学力・学習状況調査の結果分析について示唆をいただきました。今後、いただいた情報を参考に、本校児童の弱点がどこにあり、どのような授業改善（発問、学習活動の工夫）が必要か検討し、日々の授業に生かしていく予定です。
- ③ 全教員に対し、管理職による「ICTの効果的な活用」に係る授業参観（1人1回）を実施し、指導助言を行っているところです。授業で見られた効果的な手立ては、定期的に発行している「校長だより」を通して、全教職員に紹介しています。また、エバンジェリスト（校内におけるICT教育の推進者）を中心とした情報機器活用研修会も実施し、ICT機器の効果的な活用に向け研鑽を積んでいます。
- ④ 第1回学校運営協議会において、児童のあいさつについて意見を交わし、家庭・地域・学校それぞれで取り組むことについて協議しました。そのことを受け学校では、朝会等の講話の中で、あいさつについて話したり、あいさつの対象である学校関係団体やボランティアの方々の写真を校内に掲示したりしました。また、小・中合同のあいさつ運動（毎週水曜）、学級ごとに昇降口前に立って行うあいさつ運動、校内を代表委員が歩いて回り児童同士のあいさつを促す、あいさつウォーキング（毎週金曜）も継続中です。さらに、代表委員があいさつ促進動画を作り、地域の方やボランティアの方へのあいさつについて働きかけてくれました。今後もあいさつが習慣化するよう様々な取組を進めてまいります。
- ⑤ いじめ、不登校等、課題を抱える児童への対応について、月に一回の生徒指導委員会のほかに、必要に応じてケース会議を開催しています。また、保護者・児童の心配事に対応するためのサンキッズ相談日、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーから専門的な助言が得られる体制づくり、児童理解研修（各学期1回）の実施等、心のサポート体制の充実にも力を入れています。
- ⑥ 異学年交流の機会として、なかよしグループによる昼食や遊びはここまで2回実施しています。中学校との交流としては、6年生の部活動体験のほか、中学校の図書委員による読み聞かせや、保健委員による歯磨き指導等、小学校の各学年と中学校の各委員会とのコラボ企画を順次実施しているところです。この他にも、防犯、読み聞かせ、ミシン学習、町探検等で多くの保護者・地域の皆様にボランティアとして関わっていただき、児童の学習を安全で実り多いものにしていただいています。

令和5年度後半も引き続き、保護者、地域、育成会等関係団体の皆様の協力を得ながら、教育活動の充実を図ってまいります。今後ともよろしくお願いたします。